

世界各国で条約採択40周年を記念してイベントを開催（2012年中）

ブラジル、カナダ、中国、ノルウェー、南アフリカ、スペイン、英国、米国 等（アルファベット順）

最終会合（2012年11月6日～8日、於：京都） <http://www.finalevent.jp/>

- 国内関係省庁（外務省、文化庁、環境省、林野庁）共催、ユネスコ協力。
- ユネスコ事務局長、国内外の世界遺産専門家、諮問機関関係者、締約国政府関係者が参加。
- 「世界遺産と持続可能な開発：ローカル・コミュニティの役割」をテーマに、全体会合及びユース・フォーラムを開催。
- 京都宣言の策定。
- 開催地周辺の世界遺産の視察。



【日本開催で期待される効果】

- 国際的貢献のアピール → 文化遺産及び自然遺産の保全に対する積極的な姿勢。
(例：日本による海外文化財の保存・修復活動、地域住民との協働による高いレベルの遺産保全管理事例等を紹介。)
- 日本の世界遺産広報 → 日本の世界遺産所在地の観光振興。
- 大震災からの復興アピール → 日本の復興・再生を世界へ発信。
- 日本の世界遺産登録の推進 → 「富士山」「鎌倉」などの登録推進。